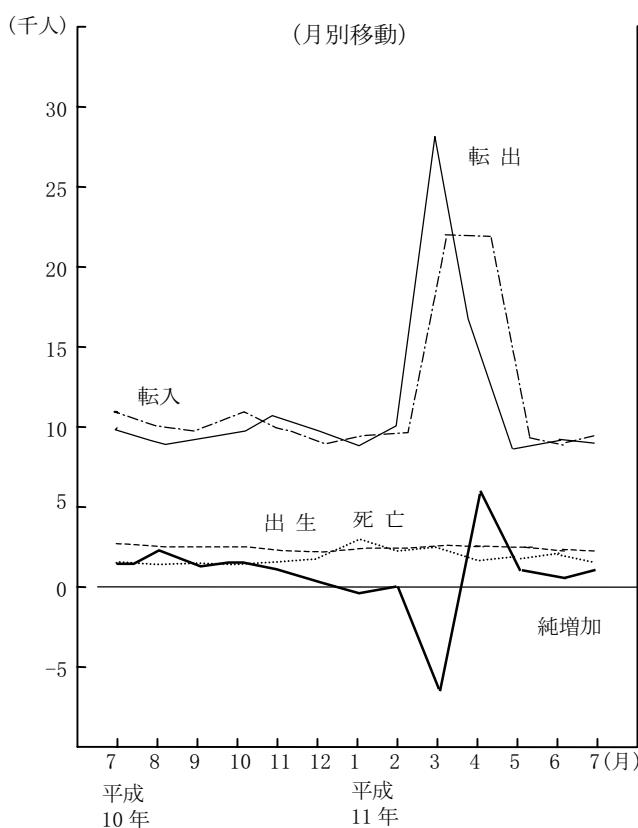


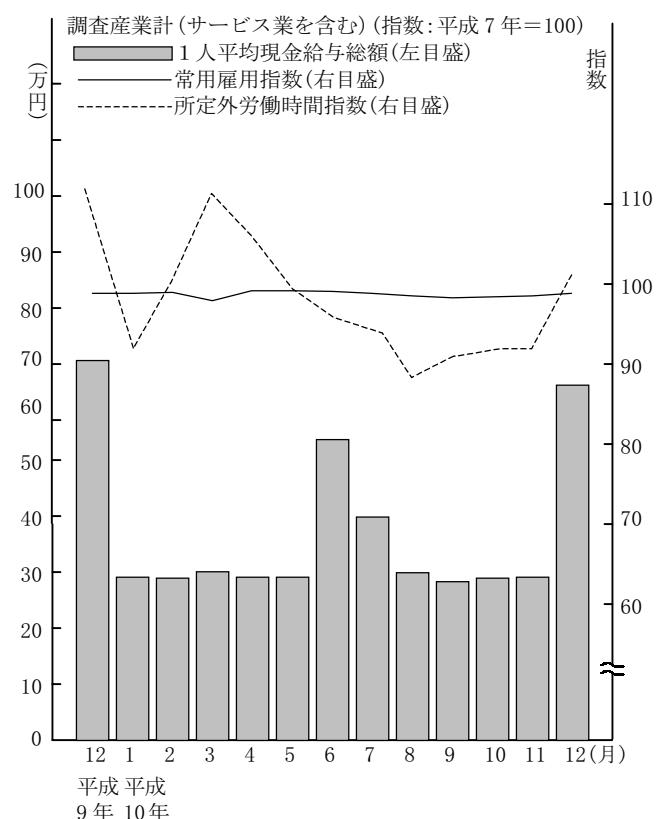
■今月の主な動き

今月の主な動き

人 口



賃金・労働時間・雇用



■人口 (11年8月1日)

7月の概況

本県の人口は、7月中に973人増加し、8月1日現在で、**2,996,821人**（男1,496,032人、女1,500,789人）となった。

内訳は、自然動態で、786人（出生2,408人、死亡1,622人）増加し、社会動態で、187人（転入9,867人、転出9,680人）増加した。前年同月と比べると6,607人（0.2%）の増加である。

市町村別では、増加が17市40町村、減少が2市22町村、増減なしが4市町村である。

世帯数についても7月中に943世帯増加し、**984,281世帯**となった。

■賃金・労働時間・雇用 (10年12月)

1. 平均賃金の推移

12月の現金給与総額は、調査産業計で**657,464円**、対前年同月比8.2%減、このうち、きまつて支給する給与は274,622円、対前年同月比1.2%減であった。特別に支払われた給与は、382,842円であった。

2. 労働時間

12月の総実労働時間は、調査産業計で**155.8時間**、対前年同月比2.0%減であった。このうち所定内労働時間は144.8時間、対前年同月比1.3%減、所定外労働時間は11.0時間、対前年同月比10.5%減であった。

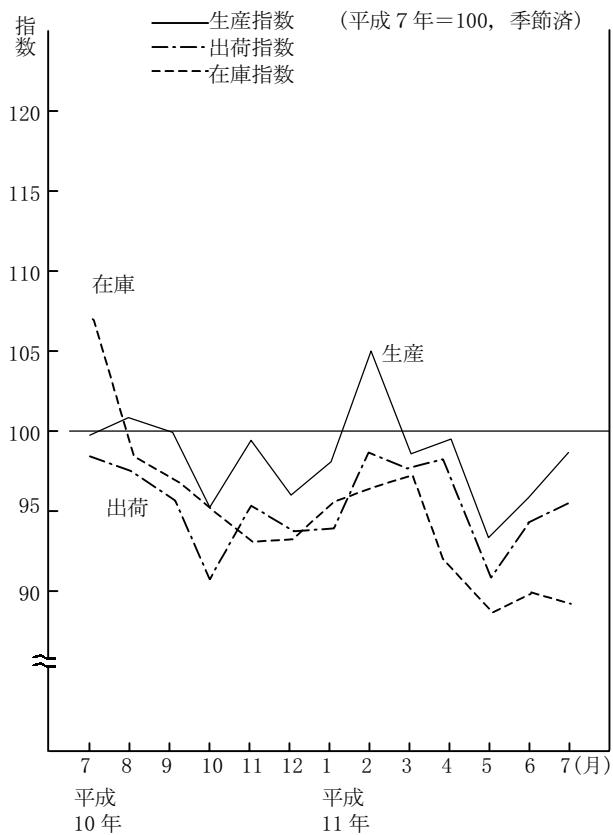
3. 雇用の動き

12月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.1%減であった。

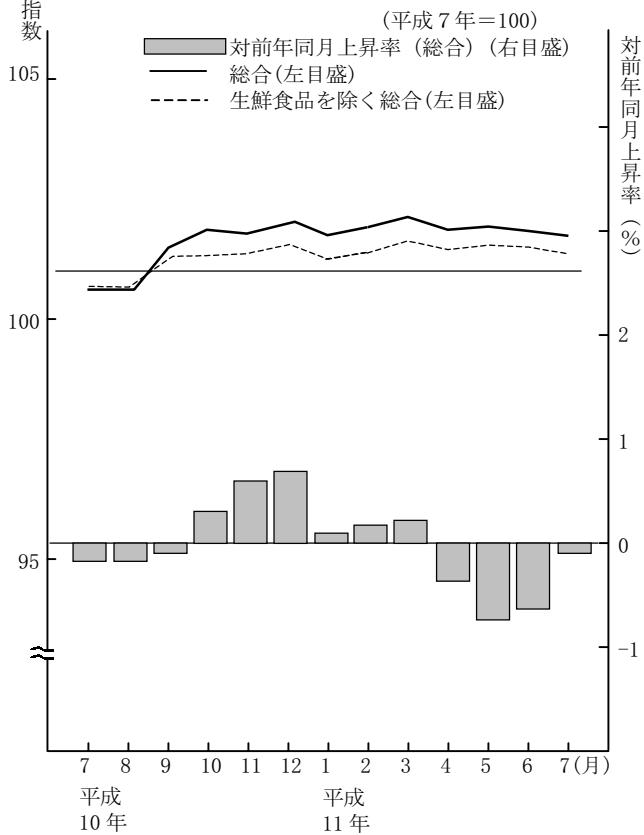
※この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお、事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）



消費者物価指数



■鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (11年7月)

本県における平成11年7月の“鉱工業指数”（平成7年=100）は、季節調整済指数で、生産が98.0、出荷が95.7、在庫が86.2であった。

1 生産の前月比は、2.5%の上昇、前年同月比は△1.4%の低下であった。業種別に前月比をみると、輸送機械工業、一般機械工業、電気機械工業等が上昇し、精密機械工業、鉱業、石油・石炭製品工業等が低下した。財別にみると、資本財、鉱工業用生産財等が上昇し、耐久消費財、耐久消費財等が低下した。

2 出荷の前月比は1.5%の上昇、前年同月比は△3.1%の低下であった。業種別に前月比をみると、輸送機械工業、一般機械工業、電気機械工業等が上昇し、精密機械工業、石油・石炭製品工業、その他工業等が低下した。財別にみると、資本財、鉱工業用生産財等が上昇し、耐久消費財、非耐久消費財等が低下した。

3 在庫の前月比は△3.9%の低下、前年同月比は△19.3%の低下であった。業種別に前月比をみると、石油・石炭製品工業、金属製品工業、輸送機械工業等が上昇し、精密機械工業、食料品・たばこ工業、繊維工業等が低下した。財別にみると、建設財、資本財が上昇し、その他用生産財、鉱工業用生産財等が低下した。

■消費者物価指数 (11年7月)

平成11年7月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で101.1（平成7年=100）となり、対前月比（-）0.4%の下落、対前年同月比（-）0.1%の下落となった。

今月の上がった主な項目…野菜・海藻 1.1%

今月の下がった主な項目…果物（-）11.4%，衣料（-）3.6%，シャツ・セーター・下着（-）7.1%，保健医療サービス（-）2.8%

生鮮食品を除く総合は101.2となり、対前月比（-）0.3%の下落、対前年同月比では増減なしであった。

■費目別指標

		上昇率 (%)		上昇率 (%)			
区分	指数	対前月	対前年同月	区分	指数	対前月	対前年同月
総 合	101.1	△0.4	△0.1	保健医療	110.6	△1.5	△1.5
食 料	102.0	△0.6	0.8	交通通信	97.0	0.3	△0.5
住 居	101.2	0.6	△0.7	教 育	108.4	0.0	0.9
光熱・水道	100.8	△0.3	△1.7	教養娯楽	98.3	△0.2	△0.2
家具・家事用品	96.3	△0.2	△0.6	諸 雑 費	102.5	△0.1	1.5
被服及び履物	102.5	△3.8	△1.1	生鮮食品を除く総合	101.2	△0.3	0.0